



## 第1回進路希望調査を終えて

第1回進路希望調査は3年生になって初めてであり、しかも休校中であつたためにとても悩んで書いた人が多かったようでした。「希望調査の書き方、高校の種類がよくわからない」、「自分は何に向いているのか、まだわからない」という声も多くありました。今回の記入については同じ受験日を3つ第1希望から第3希望まで書いていた人もいましたが、次回の第2回進路希望調査では、入試日程に沿って受験可能な志望校を第1志望から順に記入してもらいますので注意をしてください。第1回目の希望調査の書き方で気になったことを挙げておきます。前号でも紹介したものもありますが、以下にまとめますので確認して下さい。



### ＜進路希望調査 ～記入をする際にこれから気をつけること～＞

- ・印鑑忘れ、修正液で修正している、鉛筆で書いている。  
⇒正式な書類を書くつもりで、丁寧な字でしっかり書こう。注意事項をよく読もう。
- ・コード番号、受験日程の欄を書いていない。⇒忘れずに記入しよう。
- ・複数志願校を第1志望にしているが、第2志望の欄が空白である。  
⇒第2志望の高校名を書か、ない場合は「なし」と書く。空白ではだめです。
- ・受験日が同じ学校をたくさん書いている。⇒受験日の確認を。
- ・公立と書いている⇒国立、兵庫県立、〇〇市立、の確認を。
- ・公立高校の推薦入試(2/16実施)を第2志望の欄に、一般入試(3/12)を第1志望の欄に書いている。⇒推薦入試を希望する場合は第1志望の欄に。
- ・公立高校を第1希望の人も併願先として私立高校の研究をしておきましょう。当日の体調不良、万一のけがや病気、インフルエンザになった場合も考えておくことが大切です。



### ＜連絡＞

☆高等学校や専門学校から送られてきたポスターを北館3階、3-4と調理室の間の廊下の壁に貼り始めています。人数分送られてきたものは全員に配布していますが、それ以外は掲示をしていきますので、関心を持ち、気をつけて見るようにしてください。

## 私立高校について

前号(第17号)で公立、私立の学費の紹介をしました。私立高校といえば「学費が高い」というイメージが強く、私立に行けば親に迷惑をかけてしまうと思っている人がいます。確かに公立に比べて私立のほうがお金はかかります。しかし私立高校は学校ごとにそれぞれ特徴・特色があり公立にはない立派な施設やスタッフがそろっていたりもします。学区はなく、どこでも受験できます。学力的にも公立のはるか上をいく高校もあれば、中学校での成績は振るわなくても、今後のやる気さえあれば、と言ってくれる学校もあるので、自分にあった学校を選ぶことができます。また学費の面でもさまざまな支援制度があります。(☆兵庫県では私立高校に在学する生徒を持つご家庭の経済的負担を軽減するための様々な就学支援制度があります。)成績の優秀な人には特待生制度を設けている学校も多く、上手に利用すれば公立並みの費用で済む人もいます。そんな中で、私立高校を第1志望にするという人が年々増加傾向にあります。前号で専願と併願の確認をしました。私立高校には専願受検のほうが、併願受験より合格しやすいという専願が有利な仕組みもあります。



- (＜復習＞ ●専願・第1希望であり、受ければ必ず進学する。  
●併願校とは公立高校が不合格だった時に進学する私立高校のことです。)

今回の進路希望調査を記入するにあたって「私立をどこにすればいいかわからない」「私立高校は学費が高いから何とか公立を受験したい。」という人もいました。公立高校にはない私立高校の良い面にも目を向けていきましょう。

新型コロナウイルス感染症の影響で、4月5月の学校説明会が開催されない状況となつてしまいましたが、これからは少しずつ案内やパンフレットも学校に届く予定です。学校説明会やオープンハイスクールは夏休みから秋ごろに多く開催されますので、関心のある学校にはぜひ参加するようにしてください。よくわからないという人も、まずは一つの高校を選んで参加を計画してみるから始めましょう。